

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2023年12月30日

事業所名: 夢門塾ゆうゆう浅口

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	0	1	3	子ども達の成長と共に運動室が狭く感じられるようになっているため、運動プログラムの計画は動作に問題がないか確認の上、実施している。
	② 職員の配置は適切である	4	0	0	人員は多めに配置している。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	4	0	0	通常の清掃に加えてCOVID-19対応(消毒・換気)も実施している。手洗い場の床や鏡が濡れやすいためこまめに確認しており、拭き取りを行っている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	0	正社員は朝礼時に情報共有しており、出勤時間の異なるパートタイム職員には口頭伝達と書類確認の併用を実施している。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4	0	0	例年通り実施し、取り入れるべき案は柔軟に取り入れていく。
	⑥ 自己評価の結果を公開している	4	0	0	例年通り実施している。
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4	0	0	社内・社外の研修に参加している。事業所内の会議は職員全員が揃う機会が少ないため、頻繁に行うことはできていないが今後、日程調整を行い、実施機会を増やしていく。
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4	0	0	PDCAサイクルで実施している。
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	4	0	0	正社員を中心にパートタイム職員も意見を出しながら計画している。すべての曜日で活動が円滑に進行できるよう、適宜工夫・改良を行っている。
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	4	0	0	状況に応じて新しい活動を導入しており、利用者が飽きない工夫を行っている。
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4	0	0	季節や活動日・時間帯に合わせて計画し、支援している。
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4	0	0	基本的には集団活動を行っているが子どもの特性(聴覚過敏等)や体調、身体の状態に合わせて個別活動も実施している。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0	出勤社員間で毎朝、情報共有している。出勤時間の異なる職員(パートタイム)などには書面や口頭で出勤時に伝えている。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0	日々の支援についてはケース記録をPCデータ化して保管し、検証が必要な場面で活用している。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0	半年に一度のモニタリングを実施し、評価を行い見直しを実施している。
⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	4	0	0	その都度、不明点があれば確認しながら支援を行っている。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	0	毎月の行事予定を配布して下さる学校が多くあり、急な下校時間の変更等についても連携が取れている。また、当日の学校での様子を口頭で送迎の際にお伝えくださる先生もいらっしゃる。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	0	0	小学校で担当者会議開催に参加する機会がある。その際は担任の先生以外にSSW、スクールカウンセラーも同席されることがあるので情報共有の良い機会になっている。また、児童発達支援事業所からの情報提供の機会あり。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	0	0	4	該当事例がない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	0	児童発達支援センターや相談支援事業所などと連携している。必要に応じて助言を受けたり情報共有を行っている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4	0	0	コモンや連絡帳で日々、子どもの状況は報告している。対面時には文章でお伝えしきれていない状況や課題を伝え、共通理解を受けたうえで日々の支援を行うよう心がけている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4	0	0	いずれも契約時に説明をしている。その他の内容についても、随時、質問に応じるかたちで対応している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4	0	0	随時、タイムリーに対応している。対面、電話、書面など保護者様のご都合に合わせて対応している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	3	0	1	8月に参観日を設け、保護者参画型のイベントを実施した。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	0	苦情が発生した場合、速やかに職員同士で状況の確認や今後の対応について相談することができている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4	0	0	夢だより(会報)夢通信(行事予定)を紙媒体で発行している。ブログで活動の様子も発信している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	4	0	0	書類は事業所内に保管し持ち出し厳禁を維持している。職員は就職・退職の際、個人情報保護厳守の誓約書を提出している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0	必要に応じて個別に絵カードや文字カードを使用している。言葉で伝える際にはジェスチャーを含める等、有効な言葉かけの方法を検討している。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	4	0	0	今年度は地域の祭りに子どもたちを連れて参加したり、神輿の通行ルートに当事業所を入れてもらい、地域と子ども達が関わる時間を持つことができた。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4	0	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4	0	0	毎年、避難訓練を実施している。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	0	虐待防止の研修に参加している。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4	0	0	現状では自事業所で身体拘束の必要なケースはない。契約時に身体拘束の必要な場合についての説明は実施している。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4	0	0	必要に応じて実施しているが、今年度は実施なし。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4	0	0	事業所内で実施、共有している。また、口頭でも状況の共有を行っている。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

昨年度はコロナ禍の影響もあり行事企画等は縮小していたが、今年度は保護者参画型の企画立案を行い、実施した。企画を通して職員が保護者様とも関わりを持つことができた意義は非常に大きく、円滑な施設運営を行っていく上で非常に貴重な意見を伺うことができた。利用者様の成長と共に、運動室などの空間が狭く感じられることがあるため、活動プログラムを組む際には考慮する。快適な利用空間を提供できるよう、引き続き職員同士で意見交換・研修などに積極的に参加していく。